

請願第 24号

平成23年10月 3日

川崎市議会議長 大島 明 様

幸区

社会医療法人財団 石心会

ほか 82,735名

川崎市重症救急対応病院の公募に関する請願

請願の要旨

川崎幸病院は救急車の断りゼロを目指しています。市は、川崎市重症救急対応病院の公募に関して、川崎幸病院を唯一の対応病院として指定し、重症救急対応ベッド62床すべてを委託されたい。

請願の理由

- 1 高齢化の進展で救急車の出動台数が急激に増えている。
- 2 近年、特に高齢者の成人病の重症救急が増えている。
- 3 救急患者の搬送は、一刻一秒を争うために、従来の二次医療圏では広域すぎて手遅れになる。したがって救急の診療圏は各区単位で考えるべきである。
- 4 川崎市南部医療圏の場合、川崎区、中原区の病床は全国平均を超え、過剰である。幸区の病床は異常に少ない。今後の人口変化の予想を考慮に入れても変わらない。このため、川崎幸病院では、病床数に比して異常に多くの救急患者の受け入れをしてきた。病床稼働率においては市内の病院中トップである。
- 5 今回の病床配分において、川崎区、中原区の病床を幸区に移すことは理にかなっていない。他の区の病院に配分することは無意味であり、国の政策に真っ向から反することとなる。

6 以上の考えが、川崎幸病院の独断でないことは、この請願書に添付した
82,735人の署名が物語っている。

紹介議員

鎚 木 茂 哉